

愛しいてい

I C T

No. 2

H 2 5 . 7 . 2

さあ、実物投影機を使おう

(1) 手軽で大きな効果

I C T活用で、もっとも手軽で効果があるもの、それは実物投影機です。堀田龍也氏（玉川大学教職大学院教授）は次のように言います。

「小さなものが大きく映る」たったこれだけで、これまでの授業よりはるかに子どもたちの理解は向上します。だから実物投影機なのです。

実物投影機の下に教科書を置けば、今どこを学んでいるかがよくわかります。先生の手元を映せば、漢字の書き方や計算の仕方がわかりやすく教えられます。子どものノートを置けば、自分たちの考えを発表させやすくなります。

コンピュータに対する知識や、事前の準備もほとんど不要です。たったそれだけの活用で、子どもたちは断然理解しやすくなり、勉強がわかり、授業が楽しくなります。

実物投影機で映している物は教科書やノートですから、これまでの授業との違いはほとんどありません。一斉指導の授業場面で、少ない手間で大きな効果が上がる I C T活用。やればやるほど、その便利さが実感できると思います。（一度これを日常的に活用するようになると、実物投影機なしの授業に大きな不自由を感じるという感想を、多くの先生方が述べています。）

(2) 誰でも、すぐ使える

実物投影機は、I C Tの操作があまり得意でない先生方でも十分に活用できます。堀田先生グループの研究によると、I C Tの操作が得意な先生でも、パソコンよりも実物投影機を使う頻度のほうが高いということでした。実物投影機はそれだけ授業に良く馴染んだ I C Tだといえます。



尾崎小学校現存の実物投影機は

(エルモ FF-1)

今となっては、少し古い機種ですが
性能的にはまだまだ十分使えるレベル。

今秋に「機器入れ替え」があるという
噂あり。臆せずどんどん使いましょう！

